



■ 2020年3月期 中間期のご報告

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

2020年3月期第2四半期累計期間(2019年4月1日～9月30日、以下当中間期)の営業状況をご報告いたします。

連結業績の状況

当中間期における当社グループの業績は、反射防止フィルムでは基材の変更の影響があったものの、異方性導電膜(ACF)や、反射防止フィルムが好調に推移したことにより、売上高は29,925百万円(前年同期比1.5%減)、営業利益は2,827百万円(前年同期比44.8%増)となりました。なお、上記の反射防止フィルムの基材の変更による影響を除くと、売上高は前年同期比で約2%増となり、実質増収増益となりました。経常利益は、営業利益

連結業績の概要(第2四半期累計期間)

■ 売上高

29,925百万円 前年同期比 1.5%減

■ 営業利益

2,827百万円 前年同期比 44.8%増

■ 経常利益

2,911百万円 前年同期比 29.2%増

■ 親会社株主に帰属する 四半期純利益

2,066百万円 前年同期比 41.1%増

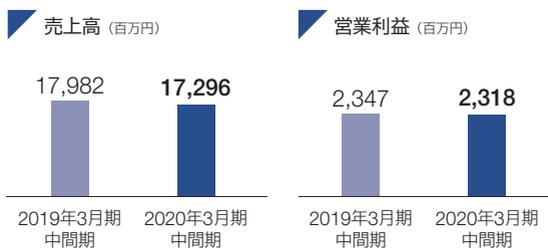
が増加した一方で、為替差益の減少などにより、2,911百万円(前年同期比29.2%増)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,066百万円(前年同期比41.1%増)となりました。

市場環境は、対前年では厳しさが続いておりますが、当社は差異化製品であるACFを中心に主力製品を伸ばし、経費抑制や生産性改善などの取り組みも奏功して、上期業績は前年同期を上回り、期初の見通しも上回る結果となりました。

セグメントの状況



- 反射防止フィルムは基材の変更の影響を受けたものの、ノートPC用ディスプレイ向け製品が好調で増収増益
- 光学ソリューションは、当社製品を用いた車載ディスプレイ向け事業が増収となり、損益が改善



- 異方性導電膜は、粒子整列型ACFがスマートフォン向けでシェアアップ、車載向けも好調で増収増益
- 表面実装型ヒューズは、ノートPC市場の減速に加え、電動工具向け製品の販売不調により、減収減益
- 接合関連材料は、ノートPC向けなどの汎用品の販売が低調で減収となったものの、熱伝導シートなどの採算の良い製品の販売が貢献し小幅減益にとどまる

通期業績予想と配当

上期の業績は期初見通しを上回ったものの、米中貿易摩擦や地政学リスクなど、事業環境はさらに不透明感が増し予断を許さない状況です。このことから、通期の連結業績見通しは、2019年4月25日公表値から修正はありません。

従いまして、売上高58,000百万円(前期比4.3%減)、営業利益は4,100百万円(同10.1%

増)、経常利益は3,750百万円(同3.9%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は2,450百万円(同7.2%増)を見込んでいます。

当社は、株主の皆様への利益還元については、のれん償却前連結当期純利益に対する総還元性向40%程度を目処に、利益成長に応じた株主還元を行うことを基本方針としています。今回の中間配当は、予定通り1株当たり17円とさせていただきます。期末配当についても同額を予定し、年間配当額は合わせて同34円となる見通しです。

株主の皆様におかれましては、当社グループ事業の発展にご期待いただき、一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

通期見通し



事業部長メッセージ



ITモバイル製品や車載向けディスプレイで採用が進む「粒子整列型ACF」

執行役員 コネクティングマテリアル事業部 事業部長
林 宏三郎

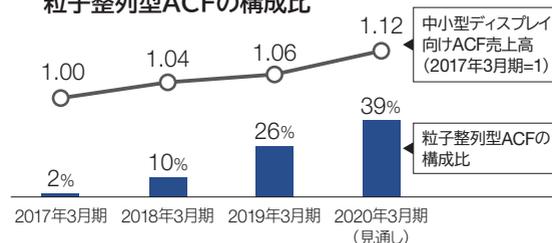
急拡大を続ける粒子整列型異方性導電膜(ACF)

当社の主力製品である異方性導電膜(ACF)は、導通と絶縁の特性を兼ね備えたフィルム型の接合材料として、世の中のほぼすべてのディスプレイや、ITモバイル機器のカメラモジュールなどの基板の接続に使われています。ACFが優れた接続信頼性を実現することで、デバイスの薄型化や小型化にも貢献してきました。

ACFが使われる主たるアプリケーションであるスマートフォン市場そのものは、ここ数年縮小傾向に

ありますが、当社のACFは、販売数量・金額ともに成長を続けています。これは、粒子整列型ACFの引き合いが強くなり、急速に売上を伸ばしていることが要因です。では粒子整列型ACFは、なぜ急成長しているのでしょうか。

■ 中小型ディスプレイ向けACFの売上高推移と粒子整列型ACFの構成比



■ 従来のACFが直面した課題

スマートフォンの登場によって、ITモバイル製品の小型化やディスプレイの高精細化がさらに進むと、接続エリアの縮小化や端子間隔のファインピッチ化も求められるようになりました。当社では、粒子径を小さくし粒子量を増やすことで小接続面積への対応をしてきました。しかし、粒子量を増やしすぎるとショート発生リスクが高まるため、ショートを起

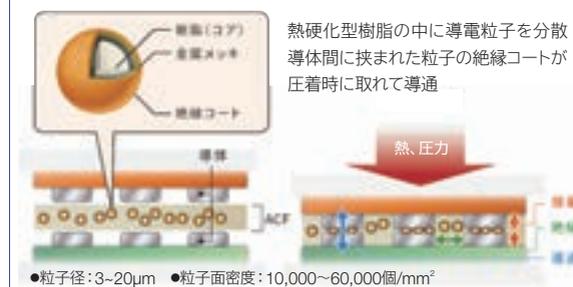
こすことなく一定の粒子量を端子上に確保することが技術的に難しく、今後もファインピッチ化への要求が高まると予測される中で、安易に粒子量を増量できないという課題に直面していました。

■ 「粒子整列型ACF」のブレイクスルー

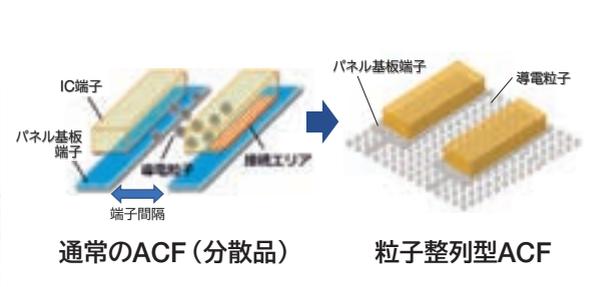
そこで開発されたのが、粒子整列型ACFです。粒子を増やすのではなく、導電粒子を減らし、意図する位置に導電粒子を整列させることで、ショート発生リスクを低減させ、安定した粒子補捉性能を実現しました。加えて、一旦整列させた粒子が動かないように流動を抑制する新しい樹脂も開発しました。こうした技術の組み合わせにより、接続エリアが小さくても確実に粒子を確保し、かつ圧着後も整列状態を維持し、ショート発生を防止できる「粒子整列型ACF」が誕生しました。

粒子整列型ACFは、ディスプレイの狭額縁化が進むスマートフォンやタブレットで、技術トレンドに合致した製品として急速に拡大が続いているほか、品質要求が高い車載向けディスプレイにおいても、その接続信頼性の高さから採用が増えています。

異方性導電膜(ACF)の製品構造



通常のACFと粒子整列型ACF



CFOメッセージ



ポートフォリオマネジメントの強化を図り、企業価値の持続的向上を実現します

上席執行役員 CFO(最高財務責任者)、総合企画部門長、プロセス改革推進担当

左奈田 直幸

「事業がわかるCFO」への期待に応えるべく、経験を活かして当社の変革を支えてまいります。

これまで私は、営業職としての入社から、経営企画部門に異動して事業部の企画、海外子会社の設立および現地赴任などの経験を重ね、その後は国内事業所長・事業部長を経て、2014年から総合企画部門長を務めています。2015年の株式上場の際し、上場プロジェクトのリーダーを務めたことは、非常にいい経験となり、現在の業務にもつながっています。

CFO就任の抱負としては、財務畑の出身ではない私を選任していただいたことに、会社の期待を感じており、その期待にしっかり応えたいと思っております。すなわち、私に求められている「事業がわかるCFO」としての役割を果たすべく、これまでの経験を活かし、当社の変革を支えていく所存です。

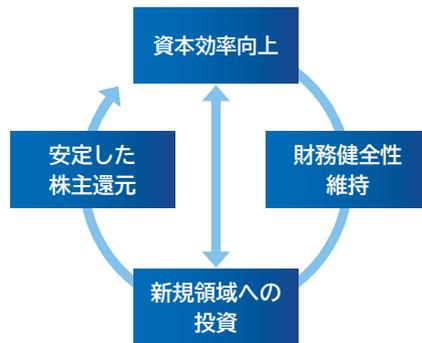
事業評価体系を導入し、リソースシフトを実現。

ポートフォリオマネジメントの強化を図ります。

今後の財務戦略においては、基本方針として企業価値の持続的向上につながる財務基盤強化を目指し、「資本効率向上」「財務健全性維持」「新規領域への投資」「安定した株主還元」の各課題に取り組んでいきます。

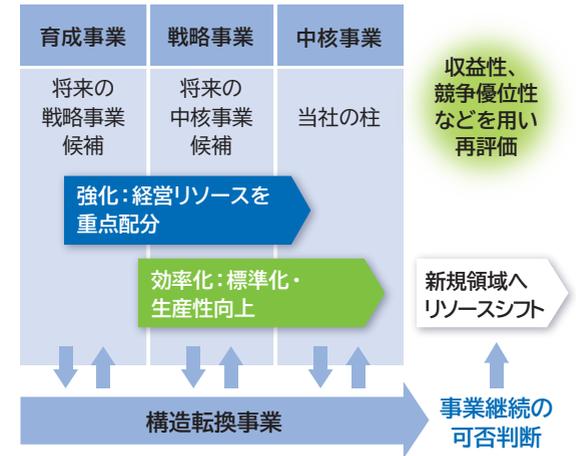
基本方針

企業価値の持続的向上につながる財務基盤強化



また、ポートフォリオマネジメントを強化すべく、各事業を収益性、安定性、成長性、事業規模、競争優位性の観点などで評価し、持続的成長へのステージごとに「育成事業」「戦略事業」「中核事業」「構造転換事業」にそれぞれ位置づけていきます。この事業の再評価プロセスを通じて、定期的に事業の選択と集中を実施し、リソースシフトを実現することで、持続的成長を目指します。

事業ポートフォリオマネジメントの考え方



定期的に事業の選択と集中を行いリソースシフトを実現、持続的な成長を目指す

「中期経営計画2023」の業績目標を達成し、私たちは未来へのスタートラインに立ちます。

「進化への挑戦」をテーマに掲げ、5年間の取り組みを始動した「中期経営計画2023」は、前3か年中期経営計画の未達を反省し、あらためて新規領域へ踏み出していく経営陣の決意と改革への意思を打ち出したものです。新規領域での成長と既存領域における事業の質的転換を果たし、経営基盤を強化していくためには、そうした改革への意思が社員一人ひとりの心根において共有されて、初めて実現できるものだと考えます。

本計画の最終年度(2024年3月期)目標値である「売上高800億円」「営業利益100億円」は、私たちが上場時に目指してきた業績水準です。これを実現していくことで、当社はようやく未来へのスタートラインに立つことができます。ステークホルダーの皆様には、私たちの5年間のチャレンジにご注目くださいますようお願い申し上げます。



株主様アンケート結果のご報告

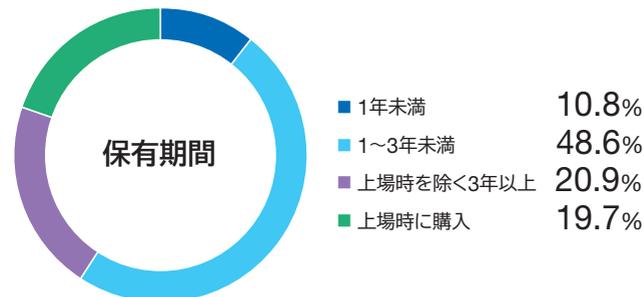
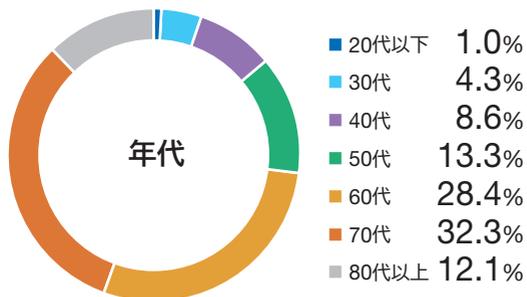
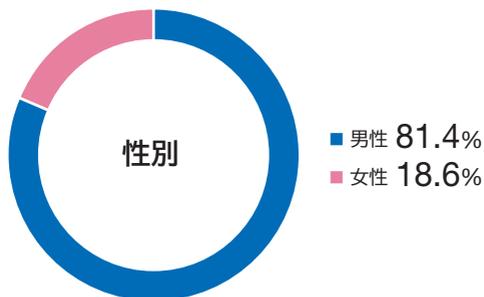
アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。

Dexerials Talk vol.8にてお願いいたしましたアンケートに、大変多くの株主様より回答をお寄せいただきました。当社では、株主様の当社への期待の大きさを真摯に受け止めるとともに、いただいた貴重なご意見・ご要望を、今後の経営とIR活動に活かしていきたいと考えております。

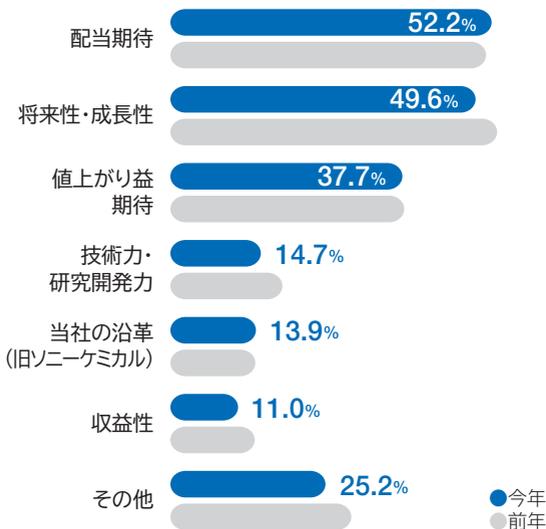
期間:2019年6月21日~7月31日

回答者数:2,642名

回収率:9.6%



Q 当社株式取得の決め手となった項目として、近いものをお聞かせください (複数回答可)



※総回答者数(2,642名)を母数として割合を算出しています。

自由記述欄に寄せられたコメント(一部)

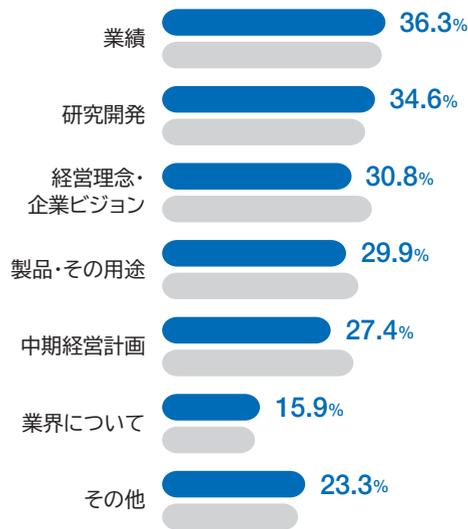
IRフェアで経営者の話を聞いて

健康経営に取り組んでいるから

世界シェアの高い製品を扱っているため

●今年
●前年

Q 当社について知りたい情報をお聞かせください (複数回答可)



※総回答者数(2,642名)を母数として割合を算出しています。

自由記述欄に寄せられたコメント(一部)

株主還元について

今後の成長分野・新規事業について

業績の見通し

●今年
●前年



アンケート結果のポイント

当社について知りたい情報として、
業績と研究開発に多くの関心が寄せられた

差異化製品である異方性導電膜(ACF)について詳しく説明しております。
 ご覧ください。→3ページへ

WEBアンケートご協力をお願い

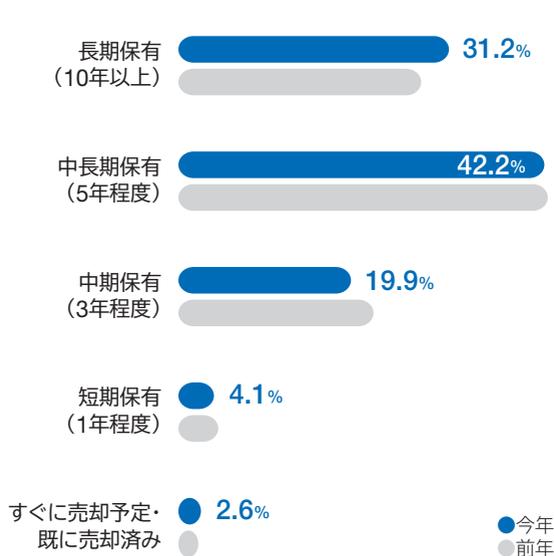
株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。
 お手数ではございますが、ご協力いただきますよう、
 よろしくお申し込み申し上げます。



<https://sforce.co/2VsDSkh>



Q 当社株式の今後の保有方針についてお聞かせください



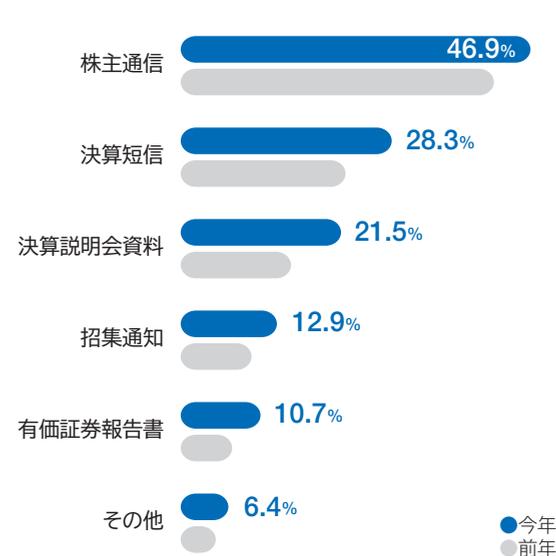
自由記述欄に寄せられた
コメント(一部)

5年程度保有し、
見極めたい

近い将来5G分野の
きらきらスターに、
株価も2倍に!!

何かしらの
変革を期待

Q 当社からの情報でよくご覧いただくもの(複数回答可)



自由記述欄に寄せられた
コメント(一部)

HPや資料だけでなく、
工場見学会や株主対
象の説明会を開催して
ほしい

Dexerials
Talk vol.8は
とても読みやす
かったです

製品が難しいので
製品情報を
もっと詳細に!

※総回答者数(2,642名)を母数として割合を算出しています。

デクセリアルズ・レビュー

売上高 (百万円)



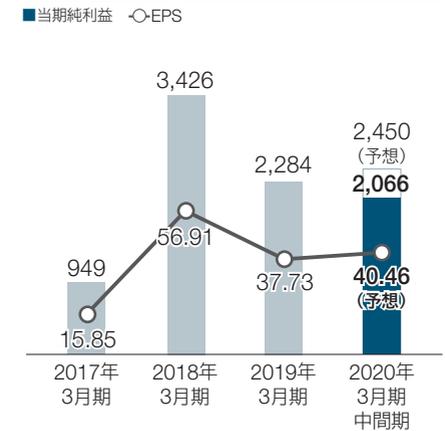
営業利益 (百万円)



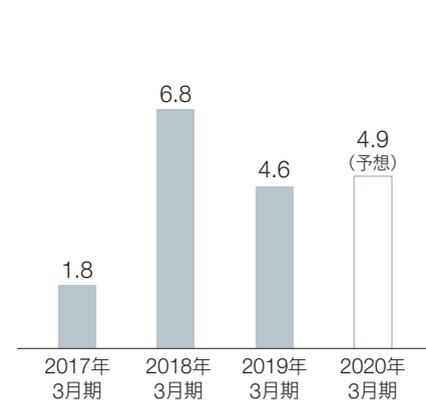
経常利益 (百万円)



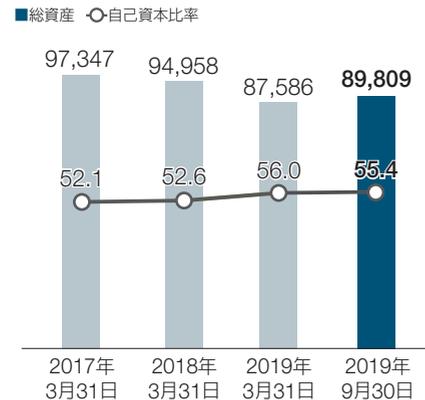
当期純利益*(百万円)と1株当たり当期純利益*(EPS)(円)



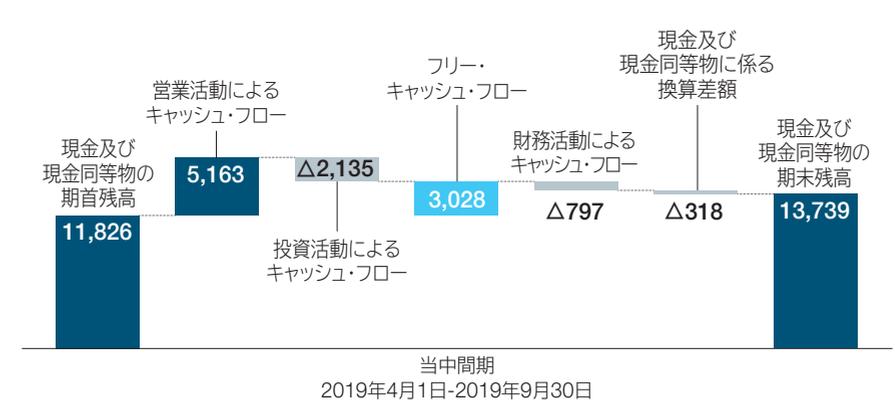
ROE (%) (自己資本利益率)



総資産 (百万円) 自己資本比率 (%)



キャッシュ・フロー (百万円)



▶ より詳細なデータについては当社サイト「IR情報」ページをご参照ください。

WEB <https://www.dexerials.jp/ir/>

デクセリアルズ IR 検索



*親会社株主に帰属する当期純利益に読み替え

■ 連結業績および財務データ

| | 第5期 2017年3月期 | | 第6期 2018年3月期 | | 第7期 2019年3月期 | | 第8期 2020年3月期 | |
|----------------------|--------------|--------|--------------|--------|--------------|--------|--------------|--------|
| | 上期 | 通期 | 上期 | 通期 | 上期 | 通期 | 上期 | 通期(予想) |
| 売上高 (百万円) | 27,373 | 62,598 | 38,225 | 70,079 | 30,378 | 60,580 | 29,925 | 58,000 |
| 営業利益 (百万円) | 1,437 | 3,491 | 3,867 | 6,178 | 1,952 | 3,724 | 2,827 | 4,100 |
| 経常利益 (百万円) | 925 | 2,893 | 3,907 | 5,682 | 2,253 | 3,903 | 2,911 | 3,750 |
| 四半期(当期)純利益* (百万円) | 34 | 949 | 2,722 | 3,426 | 1,463 | 2,284 | 2,066 | 2,450 |
| 純資産額 (百万円) | 48,659 | 50,682 | 51,794 | 49,921 | 50,090 | 49,055 | 49,720 | — |
| 総資産額 (百万円) | 87,902 | 97,347 | 96,554 | 94,958 | 93,701 | 87,586 | 89,809 | — |
| 自己資本比率 (%) | 55.4 | 52.1 | 53.6 | 52.6 | 53.5 | 56.0 | 55.4 | — |
| 有利子負債 (百万円) | 17,000 | 20,000 | 22,500 | 21,083 | 22,666 | 19,000 | 19,083 | — |
| 1株当たり四半期(当期)純利益* (円) | 0.57 | 15.85 | 45.28 | 56.91 | 24.20 | 37.73 | 34.06 | 40.46 |
| 1株当たり純資産 (円) | 812.90 | 843.56 | 860.10 | 825.82 | 827.18 | 809.40 | 818.53 | — |
| 1株当たり配当金 (円) | 27.5 | 55.0 | 20.0 | 40.0 | 20.0 | 34.0 | 17.0 | 34.0 |
| 設備投資 (百万円) | 1,704 | 9,383 | 2,115 | 7,257 | 1,421 | 2,837 | 1,430 | 4,600 |
| 研究開発費 (百万円) | 1,839 | 3,632 | 1,863 | 3,702 | 1,854 | 3,701 | 1,806 | 3,800 |
| 減価償却費 (百万円) | 1,494 | 3,334 | 1,887 | 3,799 | 2,068 | 4,390 | 2,278 | 4,800 |
| のれん償却費 (百万円) | 899 | 1,798 | 899 | 1,798 | 899 | 1,798 | 898 | 1,800 |
| 従業員数(連結) (名) | — | 2,124 | — | 1,981 | — | 2,005 | — | — |
| 為替レート(円/米ドル) (円) | 105.4 | 108.4 | 111.1 | 110.9 | 110.3 | 110.9 | 108.6 | 108.3 |

*親会社株主に帰属する当期純利益に読み替え

防曇防汚ソリューション「キレイア」が オムロン株式会社の反射形光電センサーに採用されました

当社が開発した防曇防汚ソリューション「キレイア」が、オムロン株式会社の反射形光電センサーに採用されました。「キレイア」は、素材の表面に独自のプロセスで材料をコーティングし、撥水撥油や吸湿といった複合機能を持たせることで、水蒸気によるくもりを抑え、水分や油分を含む汚れの付着を低減させるとともに、表面の傷やはがれに強い高硬度・高耐久性を維持します。

従来、「キレイア」は洗面化粧台の鏡の最表面に採用されていましたが、今回は生産現場で使われるセンサー表面の検出面の樹脂板の表面への採用となりました。

これは、検出面への水滴や油、粉塵の付着、くもりを防ぎ、生産現場環境下で誤検出頻度の削減に貢献することが評価されたことによるもので、当社ソリューションの新たな用途展開を実現できたと考えております。



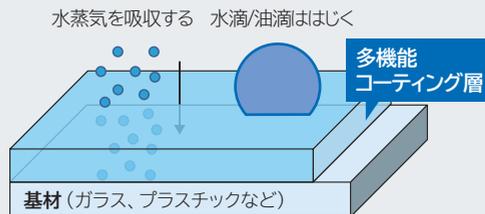
オムロン株式会社
小型反射形光電センサー
「E3ASシリーズ」
(当社技術採用)

「キレイア」の特徴

多機能コーティング層により

- 高い防曇機能
- 強い防汚機能
- 帯電防止性
- 耐傷性
- 優れた耐久性

を実現



オンライン会社説明会を開催

当社は、2019年9月18日に個人投資家の皆様向けに、オンライン会社説明会を開催しました。説明会では、上席執行役員 CFO 左奈田 直幸より当社の事業



概要や成長戦略についてご説明させていただいたほか、参加された皆様からのご質問にお答えいたしました。

<https://www.dexerials.jp/ir/individual/seminar.html>

デクセリアルズ IR 検索



CSR活動報告 2019年春の「花いっぱい運動」を実施

当社のなかだ事業所では、環境活動のひとつとして毎年6月と11月に、「花いっぱい運動」を行っています。6月の活動では、事業所構内の花壇にマリーゴールドの花苗を植え付けました。

花壇の周りにはたくさんの方で賑わい、あっという間に「花いっぱい」になりました。太陽の光をいっぱい浴びて大きくなり、たくさんの花を咲かせてくれるよう、見守っていきます。

花いっぱい運動は、環境活動をスタートした当初より20年以上継続しており、花苗は宮城県登米市米山町にある社会福祉法人榮特会の障がい者支援施設「はんとく苑」で育てていただいたものです。花苗の栽培を通じて、施設の皆さんの自立支援につながっています。



※当日の様子



会社概要／株式の状況 (2019年9月30日現在)

会社概要

| | |
|-------|--------------------------|
| 設立 | 2012年6月20日 |
| 資本金 | 15,997百万円 |
| 本社所在地 | 東京都品川区大崎一丁目11番2号 |
| 従業員数 | 2,005名(連結)(2019年3月31日時点) |

取締役・監査役

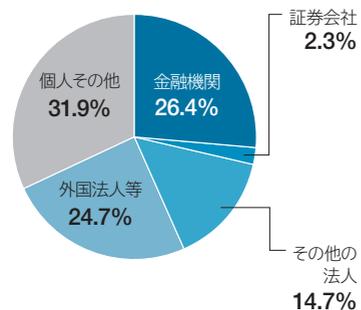
| | |
|---------|--------------|
| 代表取締役社長 | 新家 由久 |
| 代表取締役 | 佐竹 俊哉 |
| 取締役 | 安藤 尚 |
| 取締役* | 平野 正雄 |
| 取締役* | 横倉 隆 |
| 取締役* | 辻 孝夫 |
| 取締役* | 佐藤 りか |
| 常勤監査役 | 桑山 昌宏 |
| 監査役* | 高田 敏文 |
| 監査役* | ジョン C. ローバック |

*会社法に定める社外取締役、社外監査役

株式の状況

| | |
|----------|--------------|
| 発行可能株式総数 | 100,000,000株 |
| 発行済株式の総数 | 63,887,900株 |
| 株主数 | 26,984名 |

所有者別株式分布状況



大株主の状況

| 株主名 | 持株数(株) | 持株比率(%) |
|---|-----------|---------|
| 積水化学工業株式会社 | 5,040,000 | 7.89 |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口) | 3,909,300 | 6.12 |
| 資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口) | 3,144,600 | 4.92 |
| 大日本印刷株式会社 | 3,125,000 | 4.89 |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口) | 2,735,800 | 4.28 |
| NORTHERN TRUST CO.(AVFC) RE FIDELITY FUNDS | 2,591,300 | 4.06 |
| 野村信託銀行株式会社(投信口) | 1,804,500 | 2.82 |
| MLI FOR CLIENT GENERAL OMNI NON COLLATERAL NON TREATY-PB | 1,438,300 | 2.25 |
| J.P.MORGAN SECURITIES PLC FOR AND ON BEHALF OF ITS CLIENTS JPMSP RE CLIENT ASSETS-SETT ACCT | 1,229,300 | 1.92 |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5) | 1,030,900 | 1.61 |

株主メモ

| | |
|--------------|--|
| 事業年度 | 毎年4月1日から翌年3月31日まで |
| 定時株主総会 | 毎年6月開催 |
| 期末配当金受領株主確定日 | 3月31日 |
| 中間配当金受領株主確定日 | 9月30日 |
| 1単元の株式数 | 100株 |
| 証券コード | 4980 |
| 株主名簿管理人 | 三菱UFJ信託銀行株式会社 |
| 事務取扱場所 | 東京都千代田区丸の内1-4-5 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 |
| 連絡先・郵便物送付先 | 〒183-0044 東京都府中市日鋼町1-1 <ul style="list-style-type: none"> TEL 0120-232-711(通話料無料) ホームページ https://www.tr.mufg.jp/daikou/ 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 |
| 手続きに関するご案内 | 住所・氏名の変更、単元未満株式の買取請求、配当金受取方法の指定などの手続きは、口座を開設されている証券会社へご連絡ください。相続などによる株式所有者の変更は、株主名簿管理人および口座をお持ちの証券会社にご連絡ください。 |
| 公告方法 | 電子公告により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。 公告掲載URL https://www.dexerials.jp |

株式に関する手続きのご案内

| | |
|------------------|---|
| お取扱窓口 お問い合わせ先 | 支払明細の発行、未払配当金のお支払い等については、以下の連絡先にお問い合わせください。 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL:0120-232-711(通話料無料) (土日祝祭日等を除く平日9:00~17:00) 上記電話番号をご利用いただけない場合 042-204-0303(通話料有料) |
|------------------|---|

お知らせ

「デクセリアルズ統合レポート2019」発行



当社は2019年10月に、従来のアニュアルレポートとサステナビリティレポートを統合した「デクセリアルズ統合レポート2019」を発行しました。全てのステークホルダーの皆様へ、当社の事業戦略や、業績、財務情報、CSR活動などについてご報告し、ご理解をいただくためのコミュニケーションツールとして作成しています。今後もステークホルダーの皆様との良質なコミュニケーションを目指し、対話を続けてまいります。



デクセリアルズ統合レポート2019

<https://www.dexerials.jp/csr/download/index.html>



「IRメール配信サービス」に是非ご登録ください

当社のIRに関する情報をメールでお届けする配信サービスを行っております。

主なニュースリリースや、サイト更新情報などをご案内いたします。是非ご登録ください。

(このサービスはユーザー登録システムとして三菱UFJ信託銀行株式会社が運営する「RIMSNET(リムズネット)」を採用しております。)



IR情報トップページ下方にあるこちらのリンクから簡単にご登録いただけます。



WEBアンケートご協力をお願い

株主の皆様からのご意見・ご要望を今後の参考とさせていただくため、WEBアンケートを実施いたします。お手数ではございますが、是非ご協力いただきますようお願いいたします。

アンケートの実施期間

2019年11月29日から2019年12月31日まで

アクセス方法

パソコン・タブレットetc.



<https://sforce.co/2VsDSkh>

スマートフォン・携帯電話から



QRコード読み込み機能のついているスマートフォンまたは携帯電話をお使いの方は、右のQRコードから直接アンケート画面へアクセスできます。



デクセリアルズ 株式会社

〒141-0032 東京都品川区大崎1-11-2 ゲートシティ大崎イーストタワー8F
TEL (03) 5435-3941

本報告書に記載されている会社名および製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では®、TMマークは明記しておりません。



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。



環境に配慮した植物油インキを使用しています。